

保護者支援子育て支援科目 資料 2025

～2025年度に向けた支援の現状と展望～



議題の概要

- 現代の子育て動向と保護者支援
- 児童虐待の現状と対応
- 保育園における保護者支援
- 保護者支援の目的と方法
- 保育士の役割と保護者対応
- 保育園での保護者とのコミュニケーション
- 保育士配置基準の最新動向
- 処遇改善加算の一元化と実務対応

現代の子育て動向と 保護者支援



価値観が多様な時代の 保護者対策

社会環境の変化

子育てを取り巻く社会環境は急速に変化し、保護者の価値観やニーズも多様化しています。

保護者の支援

保育士は保護者の考え方を理解し、適切な支援を提供することが求められています。

子どもの成長支援

保護者との関わりを通じて、子どもの成長と発達をサポートすることが重要です。

子育て力が低い 保護者の増加



児童虐待の現状

2021年度の児童虐待相談件数は約20.7万件に達し、深刻な問題として認識されています。

育児支援の必要性

子育て力が低い保護者の増加に伴い、育児支援が求められています。

社会問題としての認識

児童虐待は依然として深刻な社会問題であり、解決に向けた対策が必要です。

虐待の種類別割合

虐待の種類	割合
心理的虐待	60.1%
身体的虐待	23.7%
ネグレクト（育児放棄）	15.1%
性的虐待	1.1%

児童虐待の現状 と対応



政府・自治体の対応

支援センターの設置

全国の市町村の97.2%が児童虐待に関する支援センターを設置しており、支援の充実が図られています。

児童相談所の対応

児童相談所の対応件数は年々増加しており、問題の深刻さが増しています。支援体制の強化が求められています。

虐待の影響

週に1人以上の子どもが虐待で命を落としているという報告があり、事態の緊急性が増しています。

虐待の種類 割合

心理的虐待	60.1%
身体的虐待	23.7%
ネグレクト（育児放棄）	15.1%
性的虐待	1.1%

• 厚生労働省の報告によると、令和3年度（2021年度）時点での児童虐待相談対応件数は約20.7万件に達しており、依然として深刻な社会問題となっています

• 虐待の種類別割合
• また、児童虐待による死亡事例は年間77人で、特に0歳児が65.3%、3歳以下が66.6%を占めています

保育園における 保護者支援

子育て力が低いと思われる保護者の特徴



不安を抱える保護者

子育てに対する不安を持ちながら子育てをしている保護者は少なくなく、周りに相談できる人が居ない・又は少ないことが多いです。

経験不足

子どもと触れ合う経験が少ないため、子育てに対するイメージが持てない親が増えています。

過度の干渉

子どもに対して過度に干渉することで、親子関係がストレスフルになることがあります。

精神的な落ち込み

子どもの反抗や甘えに対して、精神的に落ち込む保護者が増えている現状があります。

子どもにとって必要なことって？

子どもの必要性理解

保護者と接する際には、子どもにとって必要なことを常に考慮する必要があります。ココが意外と難しい…

保護者への配慮

保護者の状況を理解しようと努めつつ、子どもの最善を考慮することが重要です。

適切な対応

緊急時には、子どものために迅速な行動が求められます。

保護者支援の 目的と方法

保護者を支援する目的

保護者支援の重要性

保護者支援は保育士・保育者の職務において不可欠であり、子どもたちの健やかな成長に寄与します。支援のための手段と方法を精査する必要があります

子どもの成長の保証

支援の目的は、子どもが健やかに育つ環境を整備し、心身の発達を常に支え助けることです。

保護者支援の対象は 親御様だけでしょうか？
祖父母 ベビーシッター きょうだい 親戚等
家族まるごと…



対策と支援の両軸で

対策

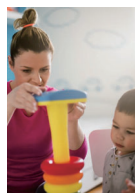
対策は、事前に状況に応じて施す手段や方法をいいます。クレームやトラブル・誤解を生じる前に…未然に防ぐための準備が重要です。

支援

支援は、力を添えて他者を助ける行為を指します。保護者の疑問や困りごとに寄り添います。

対策と支援の両軸からの保育者視点が大事！

保育現場では、事前の対策と保護者へのきめ細かな支援の両軸が必須です。バランスよく計画を立てて遂行します。



対策と支援の両軸で

保護者が育児に不安を抱えているときには、タイミングをはかって話の機会をつくり、必要な情報や選択肢を提供します。子どもの発達に課題が考えられる場合に、社会資源を活用連携し、個別支援を行っていきます。

支援は、保育者からダイレクトにというよりも、保護者や子どもが自らの力で気づき、乗り越えられるように「見守りながら寄り添う」ことが重視されます。

● 保育実践における使い分けの重要性

保育現場では、「対策」と「支援」の両軸の視点が不可欠です。

保護者との関係性を構築するうえで、事前に対策を講じる（例えば、園の方針や対応ルール整備等）と、個別の支援（保護者の背景や気持ちへの寄り添い・理解）がバランスよく求められます。

また、保育士・保育者の世代や経験値等によっても考え方が違うことがあるため、園内での共通理解を深め組織で対応することが重要です。

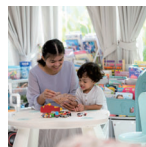
保育士の役割と 保護者対応

時代によって保育士の考え方も変わる？変える？



保育士の世代差

新卒から定年退職或いは定年以後まで、保育士・保育者の間には40年以上の世代差が存在します。経験に基づく価値観の違いの影響を常にすり合わせる必要があります。



保護者への支援

保育園は、子どもだけでなく保護者へのサポートも重要な役割を果たします。保護者が気兼ねなくリフレッシュできることが、子どものより良い育ちに直結するということを理解して保育に当たることが大切です。



価値観の多様性

異なる価値観が共存する保育現場では、意見の統一が難しいことがあります。それぞれの考え方を尊重すること、意見の凸凹が生じて、心を通わせ合う関係性をつくるためにはどうしたらよいか、常に園として組織として考えて続けることが大切です。

グループワークで発表されたこと への講師からのフィードバックmemo

■ 東京都世田谷区の事例（2022年）

「園児の声がうるさい」との苦情が寄せられた背景には、地域交流の希薄化や社会的孤立があると報じられています。かつては地域の交流拠点だった保育園が、コロナ禍などを経て関係が途絶え、子どもの声が「騒音」として受け止められるようになったという分析です。

■ 保育園を訴えた住民の敗訴（2024年）

東京の事例では、保育園の騒音を理由に訴訟を起こした住民が「受忍限度を超えていない」として敗訴。最高裁が上告を棄却し、保育園の運営が認められました。

■ 法的対応のポイント

保育園が騒音に関する苦情を受けた場合、真摯に検討し、対応策を記録し、住民に説明する努力が求められるとされています。これは法的にも重要な対応姿勢です。

🔍 考察と提案

保育園の騒音問題は、単なる音の問題ではなく、地域との関係性や保育の理解不足、孤立感などが背景にあることが多いです。保育士が保護者や地域住民に対して「寄り添う姿勢」「共感とサポート」「お互いを大事に思える関係性」を意識してお付き合いできる日々が重要です。

保護者の背景を予想する

保護者の状況理解

保護者の状況を理解することは、誤解やクレームを防ぐためにも重要です。多様な背景を考慮することが大切です。

過度な要望の影響

要望が強すぎると、保護者にとって負担になります。保護者の忙しさを、少しでも理解しようとする姿勢・思いやる必要があります。

行事や準備物の配慮

行事や準備物のお願いをする際は、保護者の事情を考慮することが重要です。保護者の時間の流れを尊重しましょう。また、1年前にはどうだったかを事前に伝えることも有効です。保護者は100%確定した内容を知りたいのではなく、見通しを早めに欲しいのではないのでしょうか？



保育園での保護者とのコミュニケーション

進んで 知ってもらうよう にする

子どもの様子の共有

保護者は子どもの日常を知る機会が少なく、情報を共有することが重要です。保育参加保育参観を“いつでも”参加できるようにしてみると、保護者と園との壁が無くなり、お互いに灯り合える風通しの良い関係へ。

保健衛生の透明性

保育園での保健衛生・安全対策を保護者に周知し、信頼を築くことが必要です。園での保健衛生は家庭にも共有することが大切です。意外と園からの保健衛生の情報の発信はなされていないといわれることが多いです。

保護者の疑問への対応

感染症が流行する中、保護者の質疑に対して適切に情報を提供し、できる範囲で共有することが大切です。

研修報告の掲示

職員の研修内容を保護者にも公開し、教育の質を示すことが重要です。



気持ちに寄り添い、正しく 分析をする

クレームの原因分析

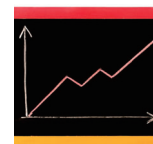
クレームが出現する原因の多くは、説明不足や誤解等です。このことを理解し、分析・精査することが大切です。

感情に寄り添う

クレームを受けた時は、相手の気持ちに寄り添い、先ずお話をしっかり伺うこと。信頼関係の深さに関係なく、真摯に対応し安心していただくために相手の気持ちを大切に向き合うこと。スピードとタイミングを見ることから始めます。。

改善策の提案

事例ごとの具体的な改善策を準備し、ことの本質を曖昧にせずしっかり見て捉え、同じ問題が再発しないように、努める必要があります。



園でのお散歩に 味付きジュースを水筒入れて子どもに 持たせたい保護者



意識のギャップ??

保護者の子育て力を促す
支援ってどのような支援で
しょう？

意識の凸凹を少しでも
埋められる情報提供と保護者との
関係づくり！？



子どもと一緒に…取り組みましょう
保護者と保育者と一緒に…実行していきましょう



意識のギャップ??

意識の凸凹を少しでも
埋められる情報提供と
保護者との関係づくり！？



保護者の成長を促す
支援ってどのような
支援でしょう？

「保育政策の新たな方向性」について

[「保育政策の新たな方向性」について](#) | こども家庭庁

全国どこでも質の高い保育が受けられ、地域でひとりひとりのこどもの育ちと子育てが応援・支援されるような社会を実現するため、今後の保育政策の在り方についてお示しする「保育政策の新たな方向性」（令和6年12月20日公表）を取りまとめました。

こども家庭庁

こども家庭庁

保育政策の新たな方向性

～持続可能で質の高い保育を通じたこどもまんなか社会の実現へ～

概要

○ **令和7年度から令和10年度末を見据えた保育政策は3つの柱を軸に推進する。**

1. 地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実
【地域の課題に応じた提供体制の確保、職員配置基準の改善、虐待・事故対策強化等】
2. 全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進
【こども誰でも通園制度、障害児・医療的ケア児等の受入強化、家族支援の充実等】
3. 保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善
【処遇改善、働きやすい職場環境づくり、保育士・保育所支援ツールの機能強化、保育DX等】

全国どこでも質の高い保育が受けられる

地域でひとりひとりのこどもの育ちと子育てが
応援・支援される

人口減少下で持続可能な保育提供体制を確保

待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」

質の高い保育の確保・充実

全てのこどもの育ちと子育て家庭の支援



こどもまんなか
こども家庭庁

1.(2) 保育提供体制の強化（職員配置基準の改善等）

現状・課題等

○待機児童対策の推進により保育の量の拡大が進む中で、質の確保・向上が求められている。保育の現場でのこどもをめぐる事故や不適切な対応事案なども発生。保育の質の確保・向上や安全安心な環境の確保のために、保育提供体制の強化を進める必要

○令和6年度には、「こども未来戦略」（加速化プラン）に基づき、制度創設以来76年ぶりに、**4・5歳児の職員配置基準**について、**30対1から25対1への改善**を図ったところ（3歳児の職員配置基準もあわせて20対1から15対1へ改善）。4・5歳児、3歳児の職員配置の改善を進めるとともに、1歳児の職員配置基準の改善についても早期に進めることが求められる

年齢	従前の基準	新たな基準
4・5歳児	30：1	25：1

○保育所等の職場環境の改善のため、保育現場へのICTの導入や保育士のサポートとしての保育補助者等の配置を推進しているところ。テクノロジーの活用や保育士以外の人材の活躍も含めて保育所等の体制を考えていくことが重要

○なお、職員配置基準については、真に必要な配置基準はどうあるべきか、科学的検証が必要との指摘があり、検証の手法やエビデンスに関する知見の収集など、研究を進める必要

こども未来戦略（令和5年12月22日閣議決定）（抜粋）

- 2024年度から、制度発足以来75年間一度も改善されてこなかった4・5歳児について、30対1から25対1への改善を図り、それに対応する加算措置を設ける。また、これと併せて最低基準の改正を行う（経過措置として当分の間は従前の基準により運営することも妨げない。）
- 2025年度以降、1歳児について、保育人材の確保等の関連する施策との関係も踏まえつつ、加速化プラン期間中の早期に6対1から5対1への改善を進める

令和7年度以降の対応等

取組の方向性

保育の安全性と質を確保・向上させるため、職員配置基準の改善や、テクノロジーや幅広い人材の活用等、保育提供体制の強化を進める



✓対応のポイント

- 加速化プランに基づいた配置改善の着実な実施
- エビデンスに基づいた配置基準の改善の検討

【4・5歳児、3歳児の職員配置の改善の促進】

○加算の取得等により改善を促進するとともに、改善の状況を確認しながら、「従前の基準により運営することも妨げない」としている経過措置の取扱いを検討

【1歳児の職員配置の改善】

○保育人材の確保等も踏まえつつ、加速化プラン期間中の早期に改善を進める

【保育の質の確保・向上のための人員配置等の在り方の研究】

○職員配置基準に関する科学的検証の手法を検討するとともに、テクノロジーや幅広い人材の活用を含め、保育所等の在るべき体制についてエビデンスの収集を進める【R6～】

[「保育政策の新たな方向性」について](#) | こども家庭庁



○保育士等の配置改善により保育の質の確保・向上、保育士等の業務負担の軽減を実現する
【4歳以上児配置改善加算等の取得施設割合の増加（令和8年度）】

孤立した育児の実態

- ◆「子育てをしている親と知り合いたかった」「子育てをつらいと感じることがあった」など、**孤立した育児の実態**がみられる。

なぜ、
家庭支援事業の実施
が必要なのですか

・子育てを取り巻く環境について、核家族化・共働き世帯増加などの家族構成の変化、地域のつながりの希薄化等により親族や友人からの支援を受けづらい環境に置かれており、孤立感や不安感を抱えながら子育てを行っている現状があります（図1）。児童虐待の相談対応件数が増加傾向にある中（図2）、児童虐待の防止等を図り、こどもの健全な育成を図るためには、養育環境が深刻な状況になる前に、こどもが育つ家庭環境・養育環境に係る支援を提供することが求められます。

家庭支援事業について | こども家庭庁

保護者の思いや悩み聴く・聴き取る重要性 その方法 場所

- ・保護者のストレス増加
 - ・子どものしつけが上手くいかない場合
 - 食の悩みも多く…
- ・保護者の悩みを聴き取る
 - ・保護者が抱える問題を理解する
- ・子どもへの接し方を考える
 - ・保護者支援の大きな役割？？



保護者の子育て力促す支援って
どのような支援でしょう？

保護者支援に、
母子健康手帳を
活用できていますか？



2023年4月から母子健康手帳が新しく改正されたのは、11年ぶりのことですね。どこがどんなふうに変ったのか保育者である私たちはその内容をよく知り食支援保護者支援に活かしていますでしょうか？

改定で、緊急性の高い項目と記録の部分が冊子に格納されて、子育て等の情報提供については、「母子健康手帳情報支援サイト」で発信されることとなりました

母子健康手帳は、胎児のころから18歳までの成長発達の記録ができるものです。入園前のお試し保育あたりで1回拝見するだけで、その後は母子健康手帳を介して保護者支援をする機会がない…そんな園も少なくないのではないのでしょうか？

保護者支援に、
母子健康手帳を
活用できていますか？



母子健康手帳は2023年4月の改訂では、産後のケアや地域相談窓口の案内、父親、家族が記載する欄が追加されデジタル化も進んでいます。一方で、「健診と予防接種以外は使っていない」「成長曲線が不安をあおるのでは？」などという不安も声も少なくありません。

- ・母子健康手帳別冊
 - ・妊婦一般健康診査受診票
 - ・乳児一般健康診査受診票
 - ・産婦健康診査受診票
 - ・妊婦産科健康診査受診票
 - ・母子保健サービス登録票(はがき)
 - ・新生児聴覚スクリーニング検査受診票

食の保護者支援に大切なことって？

保護者の意志を尊重し、
信頼関係を築く

- 価値観の違いを認めつつ…

家庭環境を考慮して
適切な支援を行う

- 経済的な状況 デリケート

専門的な知識や技術を
家庭で活かせる支援環境を整える

- 家庭との連携の考え方の不一致？

子どもの成長の姿を共有する

- 園での子どもの様子をどう伝える？



保護者との信頼関係の構築

食 **食べる** **こと** は毎日のこと 長い道のり だからこそ、保護者との良好な関係性が大事です

- 保護者とのコミュニケーション
 - 信頼関係を築くための基本
 - 相談を受ける際の重要性
- 保護者の自己決定の尊重
 - 最終的な決定は保護者に委ねる
 - 自己決定を尊重する姿勢

子どもの食から
気づく支援も
たくさん…



保護者支援は短距離ではいけない…

- 保護者が子どもに向き合えるように支援
 - 共働きの保護者が多い
 - 仕事や家事、育児で疲弊している
- 子どもとのコミュニケーション時間の確保
 - 時間が取れない保護者が多い
- ストレスの軽減
 - 子どもが思うように食べてくれない等の悩み



家庭での様子が見えないなかでの食の保護者支援は難しい…

支援にかかわる 保育者等の役割

調理職員 保育職員 事務職員
皆が同じ目線をもって…

保育者等の主な役割

- 園に通う子どもの保育・食育
- 保護者に代わってコミュニケーションを取る
- 生活リズムを整える

保護者のフォロー

- 食育・食を通じた治療に悩む保護者をサポート
- 家庭での子どもの様子をヒアリング 園での子どもの様子をこまめに伝える
- 悩みを改善するための計画を立てる

子どもの成長の共有

- 子どもの成長を保護者と喜びを分かち合う



子どもをとりまく子育ての負担を軽減する

保護者支援の重要性

- ・保護者の負担を軽減するための支援
- ・保育園での給食タオルや水筒・食具の持参が負担になること

保護者の悩みを聞くことの重要性

- ・子どもが食べないこと・偏食であること等に関する相談
- ・保護者の気持ちを受け止めることが大切

的確なアドバイスの提供

- ・解決方法の提案に留めること
- ・実行は保護者の意志に委ねるべき



給食室と“栄養日記”の交換をしているというグループワーク発表も…good!

連絡帳等をフル活用した保護者支援へ

連絡帳の役割

- ・0歳児から2歳児までのクラスの連絡帳と3歳以上児の連絡帳の使い方
- ・言語能力が未発達な子どもたちのためのコミュニケーションツール

保護者の記入内容

- ・子どもの体調や家庭での様子
- ・育児に対する悩みの打ち明け
- ・「特にないです」の記入も大切

保育士の対応

- ・保護者の記入に対する返事
- ・悩み相談の場合は実際に対話

連絡帳の重要性

- ・相談のきっかけとなる
- ・保護者からのSOSを読み取る

保育現場内だけで、保護者支援を完結するのは難しいものです。身近な社会資源（人・モノ・施設・ツール…）を有効に活用できていますか？今一度、周りを見わたしてみると、新しい施設ができた、新たな制度ができた、既存のツールが改訂されている…等、社会の子育て環境の変化に応じた保護者支援が見えてきます。



伝え方＝どう伝わっているか どのようにうつっているか 保育者自身の感覚と保護者の感覚との齟齬

感情的な伝え方を 避ける理由

- ・保護者に思いが強くなりすぎて強く伝えてしまうことは逆効果
- ・保護者を追い詰める可能性がある

保護者の信頼を 大切にする

- ・保護者は信頼できる保育士に相談している
- ・悩んだ末に相談していることを理解する

冷静な対応の 重要性

- ・感情的な態度を取らない
- ・冷静に対処することで保護者をサポート



保護者を責めることになっていないか

保護者の状況理解

- ・日々の仕事や家事に追われている
- ・必死で育児を行っている 経済的に厳しい

保護者を責めない姿勢

- ・保護者の気持ちを否定しない
- ・保護者の努力を認める

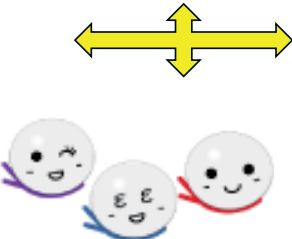
保護者支援の方法

- ・保護者の気持ちに寄り添う
- ・共感とサポートを提供する



最終的には保護者の判断に委ねる

- 保育者等からの提案
 - 保護者に解決策を提案する
 - 「保育園ではこうだから、家庭でもこうするべき」と断定しない
- 最終判断は保護者に委ねる
 - 提案を必ず実行させない
 - 解決策を実行するかどうかは保護者の判断
- 保育士の姿勢
 - 保育士も一緒に頑張る姿勢を見せる
 - 保護者の安心感を高める



食事に関する相談

- 保護者からの相談
 - 子どもがご飯を食べてくれない
 - 連絡帳を通して相談
- 解決方法
 - 子育て支援サービスを利用
 - 保育士の支援なしで解決する道は？
- 解決しない場合の提案
 - 食事の時間を決める
 - 子どもが食べられる分だけ食べさせる

それだけ？

それだけ？

それだけ？



マニュアル通りに運ばないことも多い…

保育士配置基準 の動向

2025年度 保育士配置基準の変更

年齢	旧基準	新基準（2025年度）	備考
0歳児	3:1	変更なし	
1歳児	6:1	5:1（加算措置）	条件を満たす施設に加算支給
2歳児	6:1	変更なし	
3歳児	20:1	15:1	2024年度に改正済
4・5歳児	30:1	25:1	2024年度に改正済

加算措置の詳細



配置基準の変更

1歳児の配置基準が、1人の保育士に対して5人の園児という新しい基準に変更されます。

ICT活用条件

登降園管理や連絡手段で2項目以上のICTを活用している場合、加算措置の対象となります。

職員の経験年数

保育士の平均経験年数が10年以上であることが、質の高い保育の担保に寄与します。

処遇改善等加算

処遇改善加算を全て取得していることが、加算措置の条件の一部です。

処遇改善加算の一元化と実務対応

2025年度の変更点と一元化の動き

処遇改善加算の一元化

2025年度から、処遇改善加算Ⅰ～Ⅲが一元化され、配分方法が統合へ。

施設ごとの裁量

各施設は従来の区分を統合し、独自の裁量で配分できるように。

役職者への柔軟な対応

園長やリーダー職への配分が可能になり、役職者の処遇改善が行いやすく。



加算取得の条件と実務対応

キャリアアップ研修

キャリアアップ研修を修了した従業員が必要数以上在籍することが、加算取得の条件となります。

役割分担の明確化

園内での役割分担が明確であることが、加算Ⅲの取得に必要です。具体的な職務設定が求められます。

実績報告書の作成

加算取得後は、実績報告書の作成が義務付けられます。詳細を自治体に提出する必要があります。

支給ルールの遵守

支給ルールの変更に注意が必要です。新制度に即した対応が求められます。



内容の総括

グループワークで発表された内容も踏まえ、保護者支援子育て支援に重要なポイントを再確認し、親と子どもへの支援の重要性を再認識します。

支援の重要性

保護者支援と子育て支援は、地域社会と未来の世代にとって極めて重要です。

未来へのビジョン

効果的なサポート体制の構築が、より良い未来への鍵となります。

バイオレットライト

運動不足

???

異常気象

安全性（事故・水遊び・窒息・SIDS・衣類※フード付等・）

近隣・地域との関係性

しょうがい

病 気

就学に向けて

人 権

ジェンダー

昼会議

園内の職員間でコミュニケーション

園児カルテ

グループワーク：：
現代事情に寄り添った保護者支援子育て支援について、
どのようなかわり・対応・対策をしていくと
よいでしょう？皆さんで話しあってみてください

最新データと調査結果（2025年）

■ 保育所利用とスマホ育児の実態

2025年6月の民間調査によると、保護者が育児目的でスマートフォンを週5日以上利用している割合は、1歳～6歳児で17.8%、7歳～9歳児では31.8%に達しています。背景には共働き家庭の増加や育児支援アプリの普及があり、保護者の多くが「スマホを適切に使うため家庭でルール作りを進めたい」と回答しています

※2歳ぐらいから自ら視聴するコンテンツを選ぶようになると言われ、一度見始めると依存性が出て、途中でやめることができなくなってしまうこともあります

調査したベネッセ教育総合研究所の高岡純子主席研究員は「乳幼児のスマホ利用の背景には、共働きで忙しい母親が増えていることや知育アプリなど育児に有効なツールが増えたことなどがある。利用の長時間化を防ぐため、家庭でルールを設けたりフィルタリングを活用したりするなどの工夫が必要だ」と指摘しています。

最新データと調査結果（2025年）

■ 出生数の減少と国の対策強化

2024年の出生数は68万人余りと、初めて70万人を下回りました。これを受けて国は、若年層の所得向上や子育て支援の拡充、大学授業料の減免などの施策を強化しています。

現代事情の良し悪しを保育者は 常にアンテナを高く見ていく必要があります！

キューピー ベビーフードと幼児食 来年2026年8月末で生産終了へ news

2025年6月

大手食品メーカーのキューピーは、65年間続けてきたベビーフードと幼児食の生産を来年8月末で終了すると発表しました。売り上げの低迷に加え、原材料価格の高騰などが要因だということです。

発表によりますと、キューピーは現在展開しているすべてのベビーフードと幼児食、合わせて72品目の生産を来年8月末で終了し、順次、販売も終了するということです。

会社では65年にわたってベビーフードなどを生産・販売してきましたが、近年はほかのメーカーとの競争が激しくなり、売り上げが低迷していたほか、原材料やエネルギー価格の高騰によるコストの増加などにも直面していたということです。